

第1回 三桜酒造跡地公共活用検討委員会 議事録

1. 開催概要

日 時 令和5年6月22日(木) 18:30~20:30

会 場 石見まちづくりセンター

参加者 13名(以下のとおり)

傍聴者 2名

報道関係者 3社

【委員】

(順不同、敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	備 考
学識経験者	林 秀司	公益大学法人島根県立大学 副学長	
経済団体	福濱 秀利	浜田商工会議所 副会頭	
	田中 昌昭	石央商工会 会長	
地元団体	飯田 統通	浜田駅前銀天街協同組合 副理事長	
	佐古 肇徳	石見地区自治協議会 会長	
観光団体	江木 修二	一般社団法人浜田観光協会 副会長	欠席
建設・設計 事業者	今井 久晴	浜田市建設業協会 会長	
	國分 俊幸	島根県建築士会浜田支部 役員	
地域協議会	村井 栄美子	浜田地域協議会 会長	
	岡本 敬子	金城地域協議会 委員	
	徳川 博	旭地域協議会 委員	欠席
	徳田 マスエ	弥栄地域協議会 会長	
	三浦 幸治	三隅地域協議会 委員	
交流に関する 団体	端本 千夏	島根県立大学地域活動サークル Go next (コネクト) 代表	
	串崎 舞	一般社団法人浜田青年会議所 理事長	欠席
	三浦 美穂	浜田女性ネットワーク 副会長	

【事務局】

所 属	職 名	氏 名
浜田市	市 長	久保田 章市
産業経済部	部 長	佐々木 規雄
産業経済部 商工労働課	課 長	大屋 一幸
産業経済部 関連施設支援室	室 長	宮崎 良一
産業経済部 商工労働課	専門企画員	田倉 大輔
産業経済部 関連施設支援室	専門企画員	大田 崇正

【調査委託会社】

所 属	職名	氏名
(株)エブリプラン	代表取締役社長	肥後 淳平
	取締役上席研究員	森田 俊作
	主 任	石村 明子

2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 市長挨拶
- 3) 委員自己紹介
- 4) 委員会の設置について
- 5) 協議事項 会長・副会長の選任について
- 6) 報告事項
 - ・ 検討に至る経緯・目的
 - ・ 跡地の現状
 - ・ 検討の進め方・スケジュール
 - ・ 石見神楽伝承施設の検討について
- 7) その他
- 8) 閉会

3. 配布資料

次第

委員名簿

三桜酒造跡地公共活用検討委員会設置要綱【資料 1】

三桜酒造跡地における公共活用方針検討委員会 第 1 回資料【資料 2】

調査計画概要【資料 3】

「三桜酒造跡地の活用に関するアンケート」【資料 4-1】

アンケート回答票【資料 4-2】

広報はまだ 8 月号掲載記事【資料 5】

三桜酒造跡地利活用の一つとして「石見神楽伝承施設」検討のお願い【資料 6】

4. 議事録

1) 開会

2) 市長挨拶

久保田市長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

発言者	要旨
久保田市長	<p>皆様、大変お忙しい中、検討委員会へご参加いただき感謝する。また日頃より、市政運営に対し、格別のご理解、ご支援を賜っていることに厚く御礼申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルスが 5 類となり少し落ち着き、コロナ前の生活に戻りつつある。こうした中、浜田市においては依然人口減少が進み、直近では少子化が想定以上に早く進んでいる。アフターコロナを見据え、地域活性化を図る必要性を感じている。</p> <p>本日のテーマである三桜酒造跡地は駅前の好立地の土地である。この会場で一回目を行ったのは、三桜酒造跡地が近く、前をとお見えになられたと思う。そのため、この会場で実施した。好立地のため、地域活性化の観点や市民・観光客の交流の場としても公共利用として有効に活用できると考えている。</p> <p>本日の検討委員会においては、これまでの経緯や現状、検討部分を説明させていただき、皆様のご意見を頂戴したい。</p>

3) 委員自己紹介

各委員より、名簿に沿って自己紹介を行った。欠席された 3 名の委員については、事務局より名前と所属団体等を紹介した。

4) 委員会の設置について

事務局より、委員会の設置について、配布資料 1 に沿って説明を行った。

5) 協議事項 会長・副会長の選出

委員より、事務局案を提示するよう提案があり、賛同を得た。

事務局より、以下の2名を委員長・副委員長として選出することについて提案があり、委員より承認された。

【会長】林 秀司 氏（公益大学法人島根県立大学 副学長）

【副会長】田中 昌昭 氏（石央商工会 会長）

発言者	要旨
事務局	事務局からの提案として、会長として林委員、副委員長として田中委員を選出したい。（全員、拍手）委員の皆様より賛同いただいたので、林委員、田中委員に決定する。
林会長	この会に参加するにあたり、軸足が定まっていなかったが、わずかな自己紹介の中で委員の皆様の想いが伝わっていた。会長の役割は、委員の意見を聞き、一つの方向性を導き出すことにある。微力ながら会長を努める。委員や事務局の協力を得ながら会の進行を進めて行きたい。
田中副会長	人の話を聞いてまとめるのが苦手だが、林会長がいるので安心している。手助けできるよう頑張りたい。

・会議の公開について

事務局より、浜田市附属機関等の会議の公開に関する要綱に沿って説明を行い、録画配信を異議なく、承認された。

6) 報告事項

事務局より、報告事項の(1)～(3)について、配布資料2～5に沿って説明を行い、議論した。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
委員	資料2 1頁目、『1の(4)「三桜酒造跡地公共活用方針検討委員会」において、活用方法を検討した上で、検討結果によっては公共施設用地として本市が取得することを考えている。』とあるが、地権者と話し、解体後に、浜田市土地開発公社（以下、公社）が購入すると聞いていたが、公社が購入したものを本検討委員会で公共用地として使用すると、検討・決定後に浜田市が購入するという意味か。公社と市の関係を説明しないとすでに購入したという誤解を生む可能性がある。
事務局	委員の発言通りで、三桜酒造跡地については、市で使用の可能性があるので、市が出資している公社で一旦土地を購入してもらうこととしている。そこから今回の検討委員会で皆様の意見をいただき、市として土地を取得し公共活用が決定になれば、予算をあげ、公社から購入

	し、建物を建てるなどの整備を進めることになる。厳密には公社が持っているものを市が取得するか否かを皆様の意見等により判断させていただく。
委員	流れで浜田市が購入した場合、公共施設以外の民間施設が入ることは可能か。
事務局	市が購入した場合、どのような提案をいただき、どのような機能のある公共施設にするか、内容によっては可能性があると思う。市が運営するなどを含め、ご意見いただき決定したい。
委員	民間施設が入ることが可能で良いか。可能である場合、浜田市が手をあげる前に、民間団体が手をあげているところがある。これは宇津さんしかわからないが、どこのタイミングでどういう民間団体が手をあげたかを教えてほしい。具体的でなくとも、業種等だけでも良い。
久保田市長	可能性として市が取得し、民間が利用することは可能性としてはありうるが、市が商業施設を運営する考えは今のところない。それならば最初から民間企業が取得してやれば良い。市がやるからには公共的観点から必要なものを考えたい。検討結果を聞いて、判断したい。
委員	<p>検討委員会の前に売却の話が出たとき、どういう売却の仕方をするかに携わりはなかったが、この資料の中で、酒蔵の大きな建物をシンボリックなものとして残したいというアンケートも質問も何もない。浜田市最後の民間の木造建築を何の抵抗もなくばらし、浜田市民もしくは黒川地区の皆さんが「しょうがない」という形で済ますようなこの検討委員会に入ったことに一つ非常に驚きと悲しみを感じている。</p> <p>なぜかという、今浜田市内でこれほど大きな明治時代に作られた建築物はここしかない。しかも木は乾燥したベストコンディションのものである。瓦、外壁はそれなりに傷んでいるが、浜田市が売却の時に、崩して売却して下さいとなった場合、どのような業者や建築士が来てそのような話になったか、浜田市の建築士会がどう携わり、判断したのか知らないが、残すべきという意見が1つもなかったのかどうか、それが非常に悲しい。これまで三階ホテルなど、全部崩してきた。最後の砦である三桜酒造の酒蔵は、浜田市の指導のもと、残そうと思えば残せると思った。</p> <p>この酒蔵は明治35年、21連隊、米騒動、大水害、33年の中柴橋が橋ではなく森になったような大水害を見てきた。家の中では床の間に鯉や鮒が浮いていたが、それでもこの酒蔵は生きてきた。この酒蔵がどうすれば浜田のまちのシンボリックなものとして残せるか。個人として、この大きさを残すのではなく、半分残すなどの発想が誰からも出ないのかと思</p>

	<p>った。建築士は新しく建てるのが仕事なので考えられないかもしれないが、松江城も明治維新の際、崩すという話があった。浜田市にこれがなくなったとき、何で浜田をイメージするか。城は石垣ですら町からは見えず、浜田駅についても浜田市は宿場町なのか、城下町なのかわからない。しかし、浜田市の中心から真正面に酒蔵が見え、家には立派な梁がある。それを解体し、どこかに捨てるのか。5月に私はニューヨークタイムズで「世界で2番目に暮らしやすい街」として紹介された盛岡市へ行った。とてもバランスの取れたまちが自然にでき、城や古い銀行もあった。そこまでは言わないが、酒蔵は最後の砦ではないか。鬼平犯科帳の撮影現場にもなりそうな雰囲気がある。これをあっさり崩すのか。崩した際の最高責任者は代々残る。酒蔵を何とか生かしたものにしないといけない。私も蔵の中にも小さい頃から入っている。木も乾燥し、良い木が残っている。崩してはじめて新たなものを検討するのか、残すことを頭において考えても良いのか。コンサルもいるが、この酒蔵を見て何も思わなかったのかを聞きたい。</p> <p>郷土資料館の建設について、こども美術館の横につくるという話がある。この検討委員会との整合性はどうなっているのか。両方一緒に考えるのか。</p>
久保田市長	<p>1年前に地権者から話があった。委員の他にも話があったのかについても関連し申し上げると、昨年、地権者から面談した時に、いくつかから買いたいという話があるが、浜田市にお世話になった家系でもあるため、浜田市の活性化に有効活用していただけるならそれを優先したいというお話があった。そのため商業的なことに使うのではなく、浜田市に活用方法を考えてもらいたいとの申し出があった。活用方法を考えるために、今回のこのような検討委員会を設けるに至った。ただ、その間、目的もなく浜田市が取得するわけにはいかず、それを検討していただくため、このような検討委員会を設置し、皆様のご意見をいただくことになった。</p> <p>公社で取得させていただくが、すぐに壊して、更地にして売るわけではなく、少なくとも検討委員会が進んでいる間は、取り壊しは行わないと聞いている。何に使うかわからない状態で更地にするわけにはいかない。</p> <p>1つ目の質問に関連するが、まずはこの検討委員会で何に使うべきかをご議論頂き、酒蔵を残すべきか、残すべきではないか、残す場合には建築関係の費用や維持費等を考える。建物を残す・残さないは次のステップである。まずは、あの場所を市が取得し何をするのかを考えてほしい。</p>

	それから、郷土資料館の建て替えの話は、現在、整備するのかを市民の皆さんに現地見学等をしていただき、とりまとめている段階である。建て替え整備は決定していない。建て替えるなら現時点では世界こども美術館の横に併設するのが候補地案である。現時点では三桜酒造跡地を視野に入れて考えていない。検討委員会での議論を踏まえて考えていきたい。
委員	酒蔵は、数%は残ると考えて良いか。
久保田市長	少なくとも、この検討委員会で検討している間に取り壊しの工事は入らない。
委員	三桜酒造の建物を教育委員会や浜田市として調査が一度もされていない。これは民間のものであるため、公的な評価が一切出ていない。浜田市において平面図もない。まず、残す・残さないの前に建物の価値を評価するための調査が必要だと思うが、その辺りの対応をしてもらえるのか。建築は建てるのが商売と言われたが、残すのも現在の社会では我々の義務となっている。価値の有無を公的に評価できるか検討してみてもどうか。
事務局	文化的な価値について正式調査はしていない。保留とし、今後検討したい。
林会長	調査には一定の時間と費用が必要か。
委員	ある程度の期間は必要である。費用面はどのような協力をするかで検討できると思う。市長から検討してから解体という事だったが、解体ありきで話が流れている。解体反対の人もある。現状はどうなっているか、本当に価値があるのかを考えておかなければ、一度壊すと何もなくなってしまう。是非とも検討してほしい。
委員	以前、原井小学校が解体され、新たな小学校にどういう形で建物を残すかという議論もあった。問題は、公的に価値があるかどうかのお墨付きがないと、価値が無いから解体したという結論に至り、新たにできた原井小学校の一部に旧原井校の木材を使ったという記憶がある。世界遺産でなければ国宝でもないが、残していきたいものは浜田遺産。浜田遺産に相応する皆さんの意識が酒蔵にあるかないか。古いものを再生することは新しいものを作るよりお金がかかることは、私自身も体感したのでわかる。だが残す価値があるかないかよりも、外観でも残すことで浜田に帰ってきたと感じられるものかどうかである。それが今なくなっている中で、酒蔵を残すのか残さないのかという単純な問題であると思う。皆さんがどう思われるか別にして、私は今、そのような考えですっという。

委員	酒蔵前を通る度に素敵な建物で、歴史を感じる。外観だけでもそう感じる。検討委員会に入った以上、あの場所をしっかりと見させてほしい。浜田市の駅前の文化のかおるまちの象徴として石央文化ホールの建物があり、さらに三桜酒造跡地を活かしていくよう文化のかおるような建物をどのような形で浜田市は考えているのか。石央文化ホールも生かし、尚且つ神楽の伝承的な形で扱う建物もできるかもしれない。人口が減り、少子化が進んでいる中で、建物をどうやって浜田の文化遺産にするかが心配。作ってはもらいたいが、文化ホールとの関係が気になり、そのための想いを聞きたい。
久保田市長	後ほど改めて伝えたい。
事務局	現地見学は別日に調整させてもらい、後ほどご案内したい。
委員	以前、御便殿の中か横に郷土資料館をつくる際に、水害・洪水が考える場所につくるのはおかしいとの意見があったと聞いている。三桜酒造跡地は川の横で、私の記憶の中では33年豪雨の際、浜田川が氾濫し、ものすごい水が入ったと記憶している。それ以降は、支流の川の氾濫。63年の洪水は2回水が入った。浜田第二ダムができ、100年に1度の大雨でも大丈夫だという事で、高佐川のバイパスを作ったり、今井迫川を掘ったりしているため、水害に関する心配のない土地ということを浜田市として確認しているか。
久保田市長	水害の中でも、川の上流から流れる水に加え津波もあり、どちらも大丈夫と理解しているが、改めて確認する。
林会長	第2回委員会に向けて情報を整理してほしい。
委員	三桜酒蔵の本宅の調査、耐震上大丈夫か、どうすれば残せるか等を早急に●●氏に相談し、どのくらいの費用がかかり、独断で予算執行できるかはわからないが、絶対にやるべきだと思う。私は、地権者から解体後、新聞発表の値段で開発公社が買うことが決まったという噂を聞いた。解体しないと買わないのかと思ったが、今初めて、市長から、検討委員会で大切なものを残したいや、耐震補強をして一部を残すこともありと聞いた。是非とも調査だけはお願いしたい。
事務局	次回報告したい。
委員	インターネットで調べたが、木造建築500㎡以上・以下で大きく規制が異なる。その辺りを含め、調査を進めると話がスムーズに進み、かかる費用も分かると思う。
久保田市長	内々には調べているが、正式に調べる。三桜酒造のある場所で何をするかが検討委員会で決まらないと、残す・残さないが決まらない。あの場所が固定されるとできることが限られる。検討委員会で、どのように利

	<p>活用するのかを議論してもらい、その後、建物を使うのか、使わないのかを議論する。使うのであれば、費用がどの程度かかるか等も検討していく。まずは、どのように使うのかを議論していただきたい。</p> <p>費用がいくらかかるかを内々で調べているが、正式に調査結果を示せるように検討したい。</p>
--	--

久保田市長より、報告事項の(4)について、配布資料6に沿って説明を行い、議論した。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
委員	事務局の田倉氏に電話し、平成22年度の複合施設建設に関する資料を見せてほしいと伝えた。5年経つと市の資料はシュレッターにかけるのか。
事務局	文書管理規則があり、物によると5年や10年で廃棄することになる。
委員	平成22年にコンサルの方が来られたことを覚えているが、その際に酒蔵で酒は作っていなかった。石見神楽の知人に、太鼓を持ってきてもらい、酒蔵で反響や音漏れを確かめたことがある。銀天街の商店街としても、ここに神楽殿をつくることは、昭和の終わりごろから言っている。
委員	<p>子ども神楽など、色々な神楽が石央文化ホールで行われている。それとは趣旨が違う衣装の展示場を備えた伝承館は必要だと思うが、石央文化ホールの稼働率や経費等を考えたとき、石央文化ホールはどうなるのが気になる。これからの活用次第だとは思う。神楽は子どもから大人まで、浜田を表すリズムで、沸き立つような思いが皆さんの心の中に植え付けられており、是非、作っていくべき。</p> <p>6月8日のこだまの欄に載った「高校生が舞う石見神楽に感動」という記事に感激したので切り抜いておいた。「一番最後に踊ったのが、郷土芸能部の高校生の神楽で思わず拍手をし、涙が出てきた。青春時代の高校生活を部活と勉強で大変だろうと思いながらクライマックスの時の舞はその迫力に人の心まで虜にする懸命さを感じた。この郷土の未来までも引き継いでいる気がして嬉しくて明るい気持ちになった。」との文章が載っていた。こういう若者を育てる、子どもから大人まで一つになれる場所は浜田にとって大事なものではないかと思うので、是非進めてもらいたい。それと建物がマッチすると思いませんか。これから建築の調査研究の中で、残していけるものが残るのではと思った。</p>
久保田市長	今日の記事と同じか。

委員	今日の記事は6月8日の記事を読んで自分も感動したという記事だった。
委員	資料6の市長の想いはわかる。(仮称)神楽ホールに客席200席と記載してあるが、200席をやめてほしい。酒蔵を残した場合、最大限にとっても80、100席となった時、全部崩さなければならなくなる。市長の言われた「200席が絶対」と残ると、部下は200席以上で検討を進めることになり、建物を取り壊し、更地にして新しく建てることになる。「神楽ホールをつくりたい」だけにしてほしい。
久保田市長	意見として受け止めたい。神楽団体からの要望書の中で200～300人という意見があった。ほかの文化団体から、石中央文化ホールは1000人規模で広すぎるとの話があり200人とした。三桜酒造を限定としていないためそうした。
委員	石中央文化ホールの1000人が多いとの団体の意見があったが、200～300でも十分活用できる。ただ、1000人入る施設のため、借りるお金が高いという意味も入っていると思われる。200人だと15万円程度。ここだと10万円となるのか。200人収容の週に1～2回しか稼働しない場所を市の直営で維持管理をするとすると相当なお金がかかる。観光協会によると、三宮神社の夜市は以前100人くらいだったが、コロナ後は30～50人で、100人前後入れば良いのではないか。大きな大会は、文化ホールなどで年に何回かすると良いのではないか。常時、週に1度、軽装備の神楽ができ、私は神楽と食事ができるのが一番理想である。ただ、公共施設が食事をするのは難しいので、周辺に屋台村ができると良い。
委員	資料6を見る限り、石見神楽伝承施設に100%活用されると認識している。平成22年度と同様の飲食・物販・神楽伝承館などの複合施設に活用された場合、ふるさと寄附の「石見神楽などの伝統芸能の継承」に指定した積立金が7.6億円あるとあるが、もしこの施設が100%石見神楽ではなく複合施設に活用する場合、ふるさと納税のお金は利用できるのか。
久保田市長	寄付された7.6億円を使用する際は、石見神楽関係の所には使用できる。そのほか、商業施設を検討結果で作ってほしいとなれば、別のお金で何とかしないとイケない。市長として、商業施設は市が取得して作りたいとの気持ちはない。皆さんが必要とあれば検討はするが、行政が取得し取り組むものは、公共的なものであるべき。テナントを入れてお客さんを呼び商売をする施設であれば、市がやる事業ではない。検討結果の議論を踏まえ判断したい。
委員	今の時代、多様の・複合的な文化施設など色々なものが複合しないと集

	客は難しい。商売に関する事は難しいが、例えばそのような施設をつくり、飲食を営むテナントを入れて賃貸とする可能性はあるか。
久保田市長	皆さんの議論でそうすべきとなれば考えるが、市が施設をつくり、テナントをとり、指定管理を指定するとなると事業費が必要になる。周辺部で民間事業者が事業を行うことは歓迎すべき。現時点で、民間を集めたテナントはどうかと考えている。皆さんの検討結果をお聞きした上で考えたい。
林会長	「建物を残すかどうか」と、「石見神楽伝承施設について」という具体的な事柄と、この委員会ですとまとめる成果が乖離をしているように感じる。事務局に確認したいのは、どのような成果イメージをここで出したいと思っているのか。ゴールを共有して欲しい。
事務局	資料2の5に成果イメージを示している。市長から神楽伝承館の候補地の説明もしたが、検討委員会では、三桜酒造跡地で、例えば、観光が良いのか、市民がチャレンジをするような場、あるいは集える、憩える場のような機能として、あの場所に必要なもの、公共利用できるものをまとめてもらいたい。意見を踏まえ、伝承館になるのか別の施設になるのか、具体的なことは来年度以降、市で検討し進めたい。まずはどういう機能の公共利用の可能性ができるのかを4回の検討委員会の中でまとめてもらいたい。

その他の質疑・意見は以下の通り。

林会長	空間にどのような機能を持たせるかという抽象的な話と、具体的に建物がある状況で、それをまったく無視して議論することは難しい。空間と建物の存在を前提に必要な機能を考えるという理解で良いか。
委員	どんなイメージを持つかだと思う。文化ホールができる際、当時の大谷市長が「歌舞伎ができる文化ホール」と言われたと聞いた。浜田で歌舞伎を上映できれば良く、自分もそれを観たいと。市長が石見神楽を見たいとイメージを示されたことを重く感じるし、一つの柱として、ある程度の方向性が見えてきた。ただし、せっかくこの土地を使うのであれば、今までの浜田になかったものを付け加えることも大事。益田や江津にあり浜田にないものは何か考えると、一つは憩いの場の庭がない。由志園のような池や流れがありその中を散策するもの。益田には雪舟庭園があるが、浜田市内にはない。水、緑、紅葉が全部楽しめる場所が中心地にはない。第2回までの2か月間で、こういうものがあつた、こういう場所についてみようなど、イメージを膨らませる機会を何回か用意してはど

	うか。浜田市にこのような場所を育ててみようというようなことを雑誌の中で皆の中から自由に出せる機会を用意してはどうか。
事務局	委員の商店街の想いは聞けたが、他の委員も含め、利用シーンを整理した段階で、見に行こうというやり方がある。早めに整理したい。現場を見る中で、ここを見たらというものがあれば考えて行けばよい。幅広に意見を今回は聞きたい。神楽が必要であれば類似施設を見学に行けばイメージが膨らむ。次回はアンケート調査結果等を見ながらご議論いただいた上での方が良いかと思う。2か月の時間を頂き恐縮だが、その間いろいろな方のご意見の集約をして情報提供したい。
林会長	この間にこのような情報が欲しい、このようなことがしたいという希望があればできるか分からないが聞かせてほしい。
委員	2か月空いている間に市民アンケート、ヒアリングの結果が出ると思う。アンケートやヒアリングの内容はこれで決定か。問11、14、15はダブっているため修正すると言われたが、委員の言われた「現状の建物の維持」や「文化的な資産として活用する」などの選択肢の中にない。中々「その他」でそのように記入される方はいない。書かれている項目の中にサブリミナル効果で神楽的な機能がでており、誘引されるのではと懸念される。反対ではないが、広く多数のいろいろな意見をもらう意味で、アンケートの方向性が決まっている場合、この選択肢の中からしか選ぶことができないのではないかと思う。見直しはするのかを聞きたい。
事務局	アンケートの選択肢項目を追加する場合は、言っていただければ早急に市で相談する。ただし、建物を残す、残さないは利用する内容が決まらなないと判断が難しく、そちらに議論が移る。まずは、三桜酒造の場でどういう利用シーンのイメージがあるかを聞きたい。建物を残すというニュアンスを入れることはやぶさかではない。することが決まれば、酒蔵の中が上手く活用できたり、空間がよりその活動をした方が良くなれば残すことになると思う。ただし、最終的には残すために、どのような費用と活用ができるか、壁の修繕に費用が掛かる建物なのは確かなので、次のステップの判断だと思う。
林会長	違和感をもっているのは、抽象的な空間ではなく、現に建物があるのでそれを度外視してのイメージができない。アンケート調査において、もう少し現地の情報を回答者に与える必要があると感じる。時間がなくこの場では意見出しができないため、事務局へお願いしたいのは、アンケートの項目等に対する意見を何らかの形で委員から聴取してほしい。これまで発言されていない委員の方も一言ずつ発言をいただきたい。
委員	跡地を活用するにあたり、何がベストか今は言えないが、できれば神楽

	<p>殿。私も石見で生まれ育ち、祖母も神楽に関係してきた人間なので、是非どこかに残してほしい。そこには神楽をつくる衣装や面など直に見られ、いつ行っても映像などが見られるシアターのようなものを設置して是非とも作ってほしい。できれば近場が良いが、飲食もとなれば浜田お魚市場でも、周りには飲食店があるのでそこでも良いかと考える。やはり、今一番何が大切かをこの委員会で考え、次の会には答えを出したいと思う。神楽殿は是非、浜田市のために作ってほしい。</p>
委員	<p>10年くらい広島神楽に熱中し、エンターテインメントな所は良かったが冷めた。やはり石見神楽が良かった。趣が違うことに気が付いた。神楽の施設をつくる云々について、神楽が大好き人間のためもちろん賛成だが、大都会浜田市に神楽の文化施設が2つあったとしても、どれだけ神楽人が増えるか分からない。近くに学校があり、信号機を多くの学生が渡って歩いていき、神楽を待っている人が駐車場から歩いていくような動線を考えるときに耐えられるか心配。広島は広い体育館を借り、広い運動場のような所で駐車場を管理しているので管理が容易。浜田市は並んで行列をつくると学生に不具合があるのではと懸念している。神楽は好きなのであっても良いが、300人は会場的に多いと思う。</p>
委員	<p>浜田にお住いの皆さんが三桜酒造とともにずっと生活してこられたことに感動を覚えた。三桜酒造をどれだけ小さい頃から大切にされてこられたのか思い知らされた。4月の終わりに松江から戻った夕方9時前、からくり神楽を若い夫婦が子どもを2人連れて夜9時に見に来ていた。それを見て、浜田市の駅周辺は宿泊施設が増えており、三宮神社へ行くのは大変だが、より近くに神楽が見られる場所があれば宿泊施設が増えるのではと思った。また、神楽だけではなく音楽に力を入れているのでコンサートができるようになれば良い。今、図書館も早く閉まり、医療センターも早く閉まるが、車を待つ間に勉強もでき、親が迎えに来るのを待つ場所や友達と待ち合わせをする際に、少しでも涼しい場所があると良いと思う。</p>
委員	<p>酒蔵が象徴的な建物であるためそれを残し、フリーマーケットや神楽の催しなど多目的に利用できるように建物として残されると良い。酒蔵、住宅棟、コンクリートの建物がある。住宅棟と酒蔵を残し、酒蔵はフリーマーケットや神楽の催しができるような広場として活用し、住宅棟は大学生が研究できるサテライト施設や高校生が勉強したりなど、庭園ではお茶会ができるスペースがあると良いと考える。酒蔵は残す方向で考えたい。</p>
林会長	<p>意見交換を終了させていただく。</p>

	現地見学の希望があったので検討願いたい。調査の進め方、特にアンケートについて意見があったため、書面でも良いので委員の意見を聴取してもらいたい。できれば委員の意見を受け、堅苦しくない形で今後、委員会運営を進めたい。
--	--

7) その他

事務局より、次回検討委員会や現地見学について案内した。

- ・ 次回委員会は9月7日(木) 18:00~場所は中央図書館2階多目的ホールで行う。
- ・ アンケート内容は委員の意見を頂き、とりまとめる。
- ・ 見学会は候補日を準備し、委員が見に行けるようにする。
- ・ 神楽伝承館の候補地として三桜酒造跡地を提案したが、あくまでも案であり、三桜酒造跡地=神楽伝承館ではないことは理解いただきたい。
- ・ 建物については、更地にしても残すことになっても、資料2の目的は変わらない。この土地で「どのように賑わい創出するのか」、「駅前エリアを活性化するか」、「文化のかおるまちをどのようにつくるのか」という観点で、各所属元の団体でご意見を集めていただき、第2回の委員会では、アンケートやヒアリングの結果等も踏まえ、活発な意見交換をお願いしたい。

8) 閉会

以上